

解答

□

問一 私たち人間

問二 信用を前提としながら信じられるものが何もないという矛盾を抱えた資本主義社会において、資本主義以前の信仰に戻ろうとする現象。

問三 すべての計算の対象となったことで、個人の欲望が社会的意義を持たなくなり、子どもの前向きな気持ちまでも失われてしまうということ。

問四 ウ

問五 時間や空間といった物理世界に生きる人間にとって、存在という概念を超えたところで生に手応えを与えてくれる確固としたもの。

問六 A イ B エ C ア D ウ

問七 ア 敵 イ 台無 ウ 発展

エ 禁 オ 至高

問八 エ

②

問一 足の速さを見込まれて才能を伸ばす機会があったにも関わらず、一時の感情や無知から陸上を辞め、自分の可能性を自らつぶしてしまったこと。

問二 エ

問三 香山 香山は、走る喜びを取り戻し、自分の実力を思い知るきっかけを作ってくれた梨木に感謝している。梨木 陸上にまったく興味がなかった梨木は、走ることの気持ちよさを教えてくれた香山に感謝している。

問四 ア

問五 普通であることに劣等感を抱いていたが、非凡な香山が本心から自分を特別な存在と言ってくれたことで、心が軽くなっている。

問六 A ウ B カ

問七 一 I 言葉 Ⅱ そつ Ⅲ ふ（腑）

二 エ

三 b 以・伝 c 大・小 d 牛・馬

問八 エ